

# IoT 化した自社製品の可視化画面デザインを簡単に変更する方法

本Webレシピでは、IoTデバイスやデータの可視化プラットフォームである Things Cloudについて、UI デザインを、デフォルトのデザインから変更する方法についてご紹介します。

Things Cloud UI デザインを容易に自社のデザインへ変更できるため、例えばお客さまからエンドユーザーさまへサービスを提供する際に、自社の製品として紹介することができます。

難易度： ★ ☆ ☆ ☆ ☆

レシピ公開日：2024年11月

## このレシピの内容

### 1.概要

- 1-1.本レシピで実現できること
- 1-2.所要時間
- 1-3.所要費用
- 1-4.使用するサービス
- 1-5.準備する物
- 1-6.注意事項

### 2.作業の流れ

- 2-1.必要なファイルをダウンロード/解凍する
- 2-2.ブランディング設定のための識別子を変更する
- 2-3.ロゴ画像を差し替える
- 2-4.ファビコン画像を差し替える
- 2-5.配色を変更する
- 2-6.zipファイルを作成する
- 2-7.テナントへファイルをアップロードする
- 2-8.配色を変更する

# 1.概要

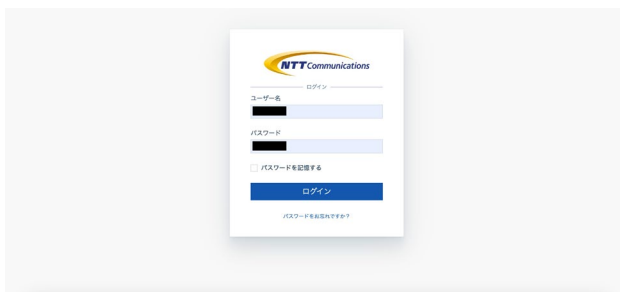
## 1-1.本レシピで実現できること

この手順を実行することで、以下のように自社のロゴやブランドカラーを Things Cloud の UI へ反映させることができます。Things Cloud を自社のサービスとして展開することで、B to B to X のようなビジネス展開が可能となります。

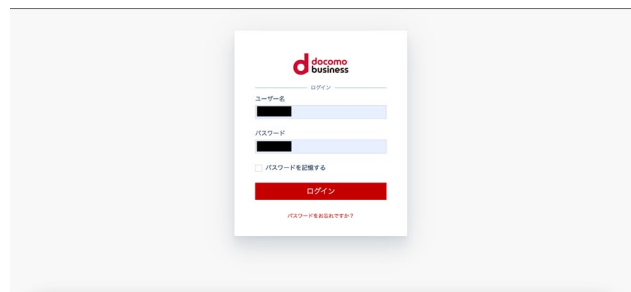
今回は、一例として docomo business デザインへ変更します。

## ログイン画面

### ログイン画面(NTT Com版)



### ログイン画面(docomo business版)



## ダッシュボード画面

### ダッシュボード画面(NTT Com版)



### ダッシュボード画面(docomo business版)



## 大まかな作業の流れ

UI デザイン変更に必要なファイルを手元に用意する  
取得したファイルの内容を編集する  
Things Cloud へ編集したファイルを反映する

## 1-2.所要時間

この手順に沿って、「Things Cloud の画面デザインを簡単にカスタマイズする方法」を実現するまでの所要時間。  
約30分

## 1-3.所要費用

0円

## 1-4.使用するサービス

[Things Cloud®](#)

### Things Cloudとは

多様なセンサーやデバイス接続からのデータ収集・可視化・分析、デバイスの管理などIoTに必要な機能をパッケージ化したIoTプラットフォームサービスです。IoTシステムに必要な機能の9割が組み込まれており、IoTを簡単に導入するのに適しています。また、直感的にUIをカスタマイズ可能で、用途に合った可視化画面を簡単に作成でき、さらにAPIファースト設計で柔軟なシステム連携も実現しており、幅広い使い方が可能なサービスとなっています。

## 1-5.準備する物

### ハードウェア

物品名	数量	価格	備考
PC	1	-	Windows PC もしくは Macを推奨

### その他準備するもの

必要なもの	費用	備考
Things Cloudのテナント	<a href="#">製品IoT化パック</a> 料金内に含まれます	-
ブランディング用ロゴ(画像ファイル)	-	-

## 1-6.注意事項

本手順の実行が及ぼす影響範囲について説明します。

- 本手順においてアップロードしたzipファイルの内容は、アップロードしたテナントおよびそのテナントの配下にあるサブテナントについても、同様の変更内容が反映されます。

例) テナントA --- サブテナントa という構成において、

(1) テナントA にzipファイルをアップロードした場合

→ zipファイルで定義した内容は、テナントA および サブテナントa に反映されます。

(2) サブテナントa にzipファイルをアップロードした場合

→ zipファイルで定義した内容は、サブテナントa にのみ反映されます。

## 2.作業の流れ

作業の流れは以下となります。

1. 必要なファイルをダウンロード/解凍する
2. ブランディング設定のための識別子を変更する
3. ロゴ画像を差し替える
4. ファビコン画像を差し替える
5. 配色を変更する
6. zipファイルを作成する
7. テナントへファイルをアップロードする

以下、詳細な手順を記載します。

### 2-1.必要なファイルをダウンロード/解凍する

次の2つのzipファイルをダウンロードしてください。

- [ui-assets.zip](#)
- [public-options.zip](#)

**注記** 上記で公開している [ui-assets.zip](#) , [public-options.zip](#) は UIバージョン ver.10.18.0.240 でのみ利用可能です。

ver.10.14.0.422をご利用のお客さまは以下からダウンロードして下さい。

- [ui-assets.zip \(ver.10.14版\)](#)
- [public-options.zip \(ver.10.14版\)](#)

#### ui-assets について

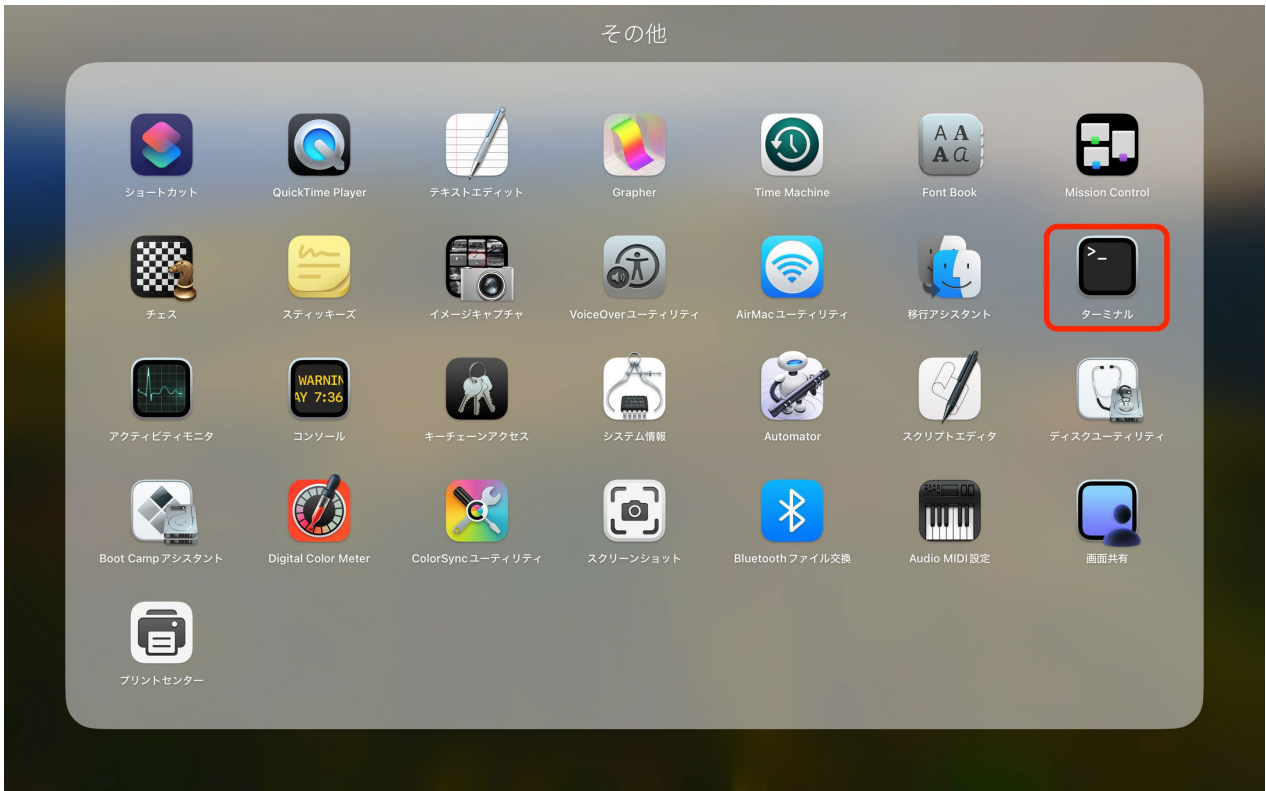
ここでダウンロードする [ui-assets.zip](#) には、主にUIを構成するロゴ画像やファビコン画像などのファイルが格納されています。本Webレシピでは、[styles.css](#) について編集し、[logo.svg](#) [tenantlogo.svg](#) [favicon.ico](#) についてそれぞれファイルを更新します。

#### public-options について

ここでダウンロードする [public-options.zip](#) には、UI上のデザイン(色や画像)に関する設定を変更するファイルが格納されています。本Webレシピでは、[cumulocity.json](#) 及び [options.json](#) について編集します。

## Macの場合

1. 画面下メニューの Launchpad -> その他 を押下し、その中に存在する ターミナル アプリを開きます。



2. ターミナルアプリにおいて、以下コマンドを入力し、ブランディング用のzipファイルを展開します。

```
$ mkdir branding // 作業ディレクトリを作成
$ cd branding // 作成した作業ディレクトリへ移動
$ mv {{ui-assets.zipのパス}} . // 作業ディレクトリへ ui-assets.zip を移動
$ mv {{public-options.zipのパス}} . // 作業ディレクトリへ public-options.zip を移動
$ mkdir ui-assets // zipファイルを展開するディレクトリを作成
$ unzip ui-assets.zip -d ui-assets/ // zipファイルを展開
$ mkdir public-options // zipファイルを展開するディレクトリを作成
$ unzip public-options.zip -d public-options/ // zipファイルを展開
$ ls // zipファイルが展開されているか確認
public-options      ui-assets
public-options.zip  ui-assets.zip
```

以下は ターミナル アプリにおいて、実際にコマンドを入力した結果となります。

```
branding -- -bash -- 96x39
[A0118547MacbookAir:command $ mkdir branding
[A0118547MacbookAir:command $ cd branding/
[A0118547MacbookAir:branding $ mv ../ui-assets.zip .
[A0118547MacbookAir:branding $ mv ../public-options.zip .
[A0118547MacbookAir:branding $ mkdir ui-assets
[A0118547MacbookAir:branding $ unzip ui-assets.zip -d ui-assets/
Archive: ui-assets.zip
  inflating: ui-assets/cumulocity.json
  inflating: ui-assets/docPane.css
  inflating: ui-assets/favicon.ico
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-bold.eot
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-bold.svg
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-bold.ttf
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-bold.woff
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-bold.woff2
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-light.eot
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-light.svg
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-light.ttf
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-light.woff
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-light.woff2
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-regular.eot
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-regular.svg
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-regular.ttf
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-regular.woff
  inflating: ui-assets/frutiger-neue-regular.woff2
  inflating: ui-assets/legalOptions.css
  inflating: ui-assets/logo.svg
  inflating: ui-assets/rule-edit.svg
  inflating: ui-assets/rule-icon.svg
  inflating: ui-assets/styles.css
  inflating: ui-assets/tenant-logo.svg
[A0118547MacbookAir:branding $ mkdir public-options
[A0118547MacbookAir:branding $ unzip public-options.zip -d public-options/
Archive: public-options.zip
  inflating: public-options/cumulocity.json
  inflating: public-options/options.json
[A0118547MacbookAir:branding $ ls
public-options      public-options.zip  ui-assets           ui-assets.zip
[A0118547MacbookAir:branding $
```

## Windowsの場合

- > mkdir .¥branding // 作業ディレクトリを作成
- > cd branding // 作成した作業ディレクトリへ移動
- > Move C:¥Users¥Owner¥Downloads¥ui-assets.zip . // 作業ディレクトリへ ui-assets.zip を移動
- > 1 個のファイルを移動しました。
- > Move C:¥Users¥Owner¥Downloads¥public-options.zip . // 作業ディレクトリへ public-options.
- > 1 個のファイルを移動しました。
- > mkdir .¥ui-assets // zipファイルを展開するディレクトリを作成
- > mkdir .¥public-options // zipファイルを展開するディレクトリを作成

// zipファイルと同じ名前のディレクトリ内で、zipを解凍してください

// ※zipの解凍はGUIで実行してください

```
> dir /B
public-options
public-options.zip
ui-assets
ui-assets.zip
```

## 2-2.ブランディング設定のための識別子を変更する

ブランディング設定のための識別子を変更するために、まずは `ui-assets/cumulocity.json` の `contextPath` を `ui-assets-{tenantId}` に変更してください。テナントIDは、`GET /tenant/currentTenant` で取得でき、レスポンスボディに含まれる `name` がテナントIDです。

**注記:** `contextPath` とは、対象のテナントへブランディングを設定するための、そのテナントと識別するための値となります。そのため、`contextPath` はテナント間でユニークである必要があるため、ここではユニークな値である `テナントID` を使用する方法を紹介していますが、必ずしもこの形式である必要はありません。ただし、重複チェックが行われないため、気づかないうちに重複し予期せぬ不具合が発生する可能性があり、`ui-assets-{tenantId}` というフォーマットでテナントIDを使用することを推奨します。

例) `cumulocity.json` (テナントID が `testtenant` の場合)

```
{
  "contextPath": "ui-assets-testtenant", // 変更箇所
  "availability": "MARKET", "type": "HOSTED",
  "name": "ui-assets",
  "key": "ui-assets-testtenant-key", // 任意の値を設定してください
  "noAppSwitcher": true
}
```

### tenantId の取得方法について

上記で設定する `tenantId` については、下記手順で取得することができます。

1. Things Cloud (Cockpit) へログインします
2. 右上のアイコンボタンを押下します
3. メニュー内の「プラットフォーム情報」内にテナントIDの記載があります



次に、設定した contextPath を public-options/options.json に反映します。編集箇所は、contextPath が設定されている下記の4項目です。ui-assets-ntt となっている contextPath を上記で設定した ui-assets-{tenantId} に置き換えてください。

- brand-logo-img
- navigator-platform-logo
- extraCssUrls
- faviconUrl

## 2-3. ロゴ画像を差し替える

ロゴ画像を変更したい場合は、解凍した ui-assets に含まれる下記画像が対応しています。変更したい画像があれば、ファイル名を変えずに画像を差し替えます。

ファイル名	表示場所
logo.svg	ログイン前/ログイン中に表示される画像
tenant-logo.svg	ログイン後、左上に表示される画像

### png 形式の画像ファイルを svg 形式へ変換する方法

多くの画像はsvg形式ではなくpngなどの形式なので、svg形式へ変換する必要があります。

今回は、Inkscape というソフトウェアを用いて、png形式の画像をsvg形式へ変換する方法をご紹介します。

**注記:** 本手順は、さまざまな手順の中の一例となります。

#### Mac の場合

1. 以下コマンドを入力し、Inkscape を導入します。エラーが出ずに処理が終了すると、正常にソフトウェアが導入されています。

```
$ brew install inkscape
```

2. 以下コマンドを入力し、png 画像を svg 画像へ変換します。ここでは、logo.png という画像を、logo.svg へ変換します。  
logo.svg が生成されていれば、正常に完了しています。

```
$ inkscape -z "logo.png" -o "logo.svg"
```

#### Windows の場合

Windows の場合、コマンドが用意されていないため、専用のソフトウェアをインストールし、ソフトウェア上で変換の作業が必要となります。

下記手順をご参考ください。

**注記:** 本手順は、さまざまな手順の中の一例となります。

1. Inkscapeの公式ウェブサイト (<https://inkscape.org/>) からソフトウェアをダウンロードし、インストールします。
2. インストール後、Inkscapeを開きます。
3. 絵を描くメニューから 開く を選択し、変換したいPNGファイルを開きます。
4. pngビットマップ画像のインポート ポップアップが開くので、適切なオプションを設定し、OK を押します。
5. 画像が開いたら パス(P) メニューを開き ビットマップのトレース(T) を選択します。これにより新しいレイヤーが作成され、さらにその上にベクターアートが作られます。
6. ファイル(F) メニューから 名前を付けて保存(A) を選択し、保存形式を Inkscape SVG (\*.svg)に設定し保存します。

**注記:**

- ・ファイルサイズ（容量）は、元のファイルと同じか近い値になるようにしてください。
- ・ロゴ画像の大きさについては、元のファイルを参考にしながら、何度かアップロードして調整をおこなってください。

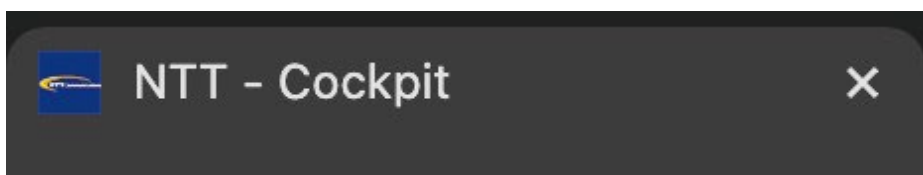
## 2-4.ファビコン画像を差し替える

ファビコン画像を変更したい場合は、解凍した ui-assets に含まれる下記画像が対応しています。変更したい画像があれば、ファイル名を変えずに画像を差し替えます。

ファイル名	表示場所
favicon.ico	ファビコン画像

### ファビコン画像とは

ブラウザの 各タブ欄へ表示される画像です。Things Cloudにおいて、デフォルトでは下記のように NTT Communications の企業ロゴが表示されます。



## png 形式の画像ファイルを ファビコン画像(ico 形式の画像ファイル) へ変換する方法

ここでは、png 画像 を ファビコン画像(ico 形式の画像ファイル) へ変換する方法について、一例をご紹介します。  
Mac では専用のコマンドが用意されていますが、Windowsではソフトウェアをインストールする必要があります。

### Mac の場合

ここでは ImageMagick というツールを導入し、専用のコマンドを実行します。

**注記:** 本手順は、さまざまな手順の中の一例となります。

1. 以下コマンドを入力し、変換用ツール(コマンド) を導入します。エラーが出ずに処理が終了すると、正常にツールが導入されています。

```
$ brew install imagemagick
```

2. 以下コマンドを入力し、png 画像を favicon.ico へ変換します。ここでは、logo.png という画像を、favicon.ico へ変換します。  
favicon.ico が生成されていれば、正常に完了しています。

```
$ convert logo.png -define icon:auto-resize=64,48,32,16 favicon.ico
```

### Windows の場合

Windows の場合、コマンドが用意されていないため、専用のソフトウェアをインストールし、ソフトウェア上で変換の作業が必要となります。

下記手順をご参考ください。

**注記:** 本手順は、さまざまな手順の中の一例となります。

1. GIMPといった画像編集ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。(GIMPのダウンロードリンク：<https://www.gimp.org/downloads/>)
2. GIMPを開き、ファイル(F) メニューから 開く/インポート(O) を選択し、変換したいpng画像を開きます。
3. 画像を開いたら ファイル(F) メニューから 名前を付けてエクスポート(X) を選択します。
4. ファイル形式としてMicrosoft Windows アイコン(\*.ico) を選択し、ファイル名を指定した後にエクスポート ボタンを押します。
5. ダイアログが表示されるので適切なオプションを選択し、エクスポートボタンを押します。

## 2-5.配色を変更する

配色の変更は、主に `public-options/options.json` を編集することで可能となります。一部配色は、`ui-assets/styles.css` を編集することで変更できます。

今回は docomo business デザインへ変更するための設定値について記載します。色の指定については、16進数や`rgba`値、`var()`関数で変更可能です。

その他、詳しい情報は [こちら](#) をご参照ください。

**注記:** ご利用頂いているバージョンによって、本Webレシピの適用例と実際の画面表記が一部異なる場合があります。

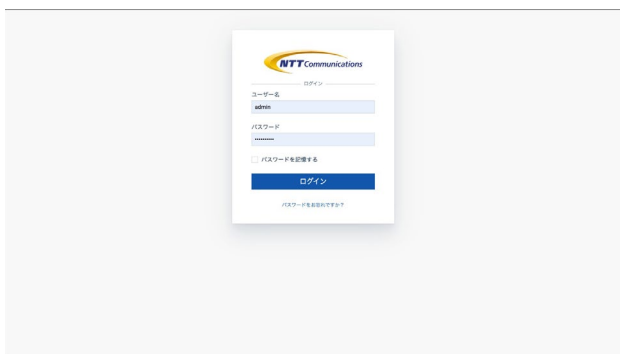
ここでは、docomo business デザインへ変更するための設定値をご紹介します。

### brand-primary( `public-options/options.json` )

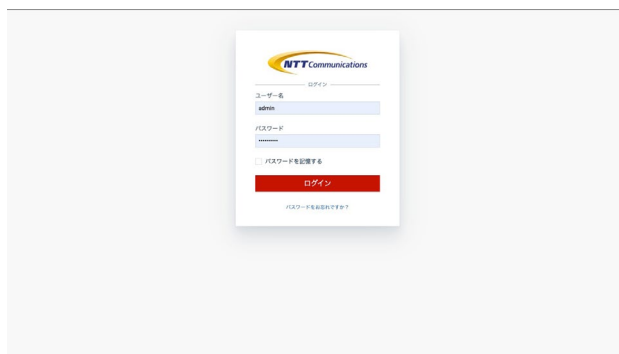
`brand-primary` を変更すると、UI上の対象オブジェクトへカーソルをフォーカスした時の色や、ログイン画面の色について変更されます。

下記は、`brand-primary` の値を `#C60000` に変更した場合の、ログイン画面とコックピット画面のイメージとなります。

#### ログイン画面(変更前)



#### ログイン画面(変更後)



## コックピット画面(変更前)



## コックピット画面(変更後)

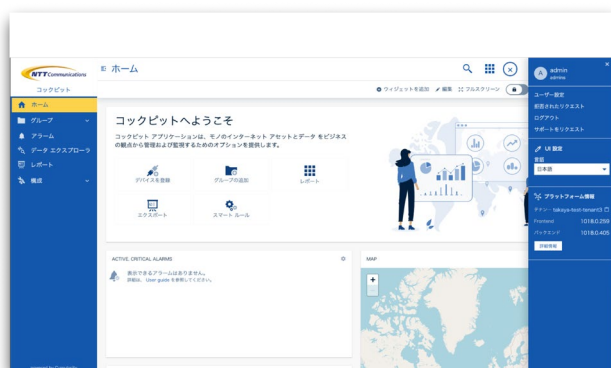


## navigator-bg-color( public-options/options.json )

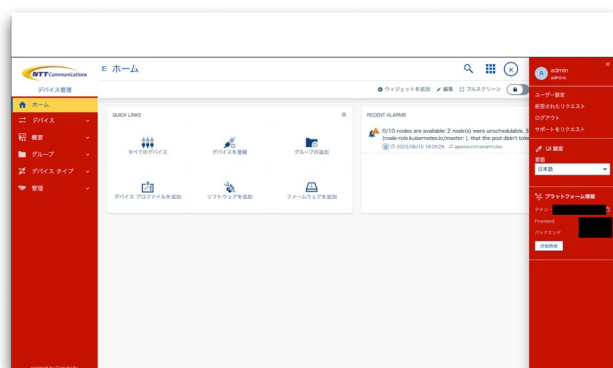
navigator-bg-color を変更すると、メニューバーの色について変更されます。

下記は、navigator-bg-color の値を #C60000 に変更した場合の、コックピット画面のイメージとなります。

## コックピット画面(変更前)



## コックピット画面(変更後)



## navigator-title-color( public-options/options.json )

navigator-title-color を変更すると、各アプリケーション画面のタイトル文字について変更されます。

下記は、navigator-title-color の値を #C60000 に変更した場合の、コックピット画面のイメージとなります。

### コックピット画面(変更前)



### コックピット画面(変更後)



## navigator-color-active( public-options/options.json )

navigator-color-active を変更すると、UI上の左メニューをクリックした際の、対象部分の文字色について変更されます。

下記は、navigator-color-active の値を white に変更した場合の、コックピット画面のイメージとなります。

### コックピット画面(変更前)



### コックピット画面(変更後)



## navigator-active-bg( public-options/options.json )

navigator-active-bg を変更すると、UI上の左メニューをクリックした際の、対象部分の色について変更されます。

下記は、navigator-active-bg の値を #930000 に変更した場合の、コックピット画面のイメージとなります。

### コックピット画面(変更前)



### コックピット画面(変更後)



## header-text-color( public-options/options.json )

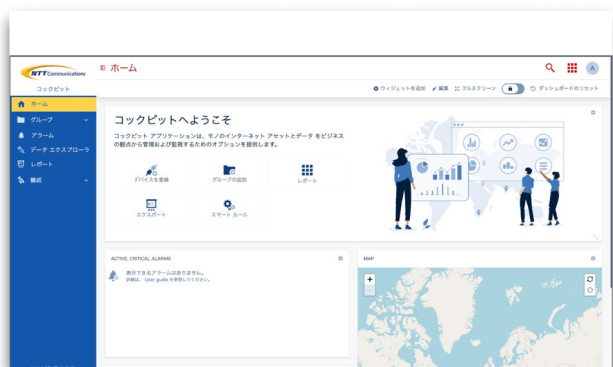
header-text-color を変更すると、UI上部の文字色やアイコン色について変更されます。

下記は、header-text-color の値を #C60000 に変更した場合の、コックピット画面のイメージとなります。

### コックピット画面(変更前)



### コックピット画面(変更後)



## **.navigatorContent .link.active + .children.in( ui-assets/styles.css )**

.navigatorContent .link.active + .children.in を下記のように変更すると、グループ配下の背景色が変更されます。

// 変更前

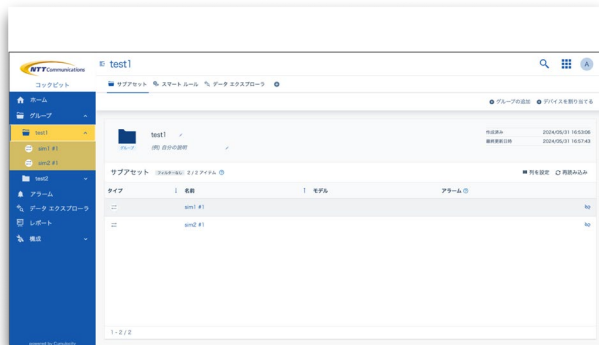
```
.navigatorContent .link.active + .children.in{ background: rgba(253, 211, 76, 0.8)!important;
}
```

// 変更後

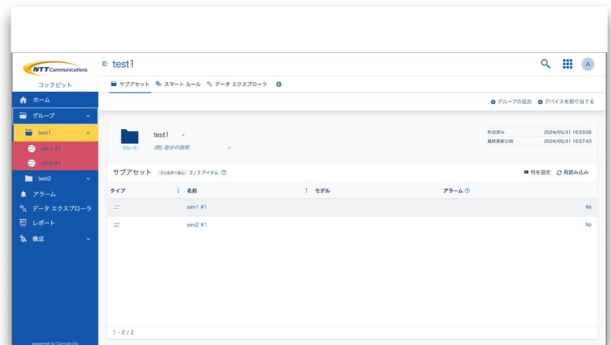
```
.navigatorContent .link.active + .children.in{ background: rgba(255, 80, 80, 0.8)!important;
}
```

下記は、.navigatorContent .link.active + .children.in の値を background: rgba(255, 80, 80, 0.8)!important; に変更した場合の、コックピット画面のイメージとなります。

**コックピット画面(変更前)**



**コックピット画面(変更後)**



## 2-6.zipファイルを作成する

1でダウンロードした、変更前の public-options.zip と ui-assets.zip は別のフォルダを作成し、退避させておきます。

**注記:** public-options.zip および ui-assets.zip は、このファイル名でなければブランディング定義用のファイルとして認識されません。そのため、変更後のファイルも同名のzipファイルとして作成する必要があります。

### Macの場合

```
$ pwd
{{brandingディレクトリのパス}}
$ mkdir original // 手順1 でダウンロードしたファイルの退避先フォルダを作成
$ ls
original  public-options.zip  ui-assets.zip
public-options  ui-assets
$ mv ui-assets.zip original/ // 退避先フォルダへ 修正前のzipファイルを移動
$ mv public-options.zip original/ // 退避先フォルダへ 修正前のzipファイルを移動
$ ls
original  public-options  ui-assets
$ ls original/
public-options.zip      ui-assets.zip
```

### Windowsの場合

```
> cd
> {{brandingディレクトリのパス}}
> mkdir .¥original // 手順1 でダウンロードしたファイルの退避先フォルダを作成
> dir /B
original
public-options
public-options.zip
ui-assets
ui-assets.zip
> Move ui-assets.zip original // 退避先フォルダへ 修正前のzipファイルを移動
1 個のファイルを移動しました。
> Move public-options.zip original // 退避先フォルダへ 修正前のzipファイルを移動
1 個のファイルを移動しました。
> dir /B
original
public-options
ui-assets
> dir /B .¥original
```

public-options.zip

ui-assets.zip

次に、2,3で変更したファイルを使って、public-options.zip と ui-assets.zip を作成します。

**注記:** zip形式に圧縮する対象はファイル群です。ディレクトリは含めないでください。

例) ui-assets の場合: ★ = ファイル群

```
ui-assets/                                // 圧縮対象外
├─ cumulocity.json                        //★
├─ docPaneSample.css                     //★
├─ favicon.ico                           //★
├─ frutiger-neue-bold.eot                //★
├─ frutiger-neue-bold.svg                //★
├─ frutiger-neue-bold.ttf                //★
├─ frutiger-neue-bold.woff               //★
├─ frutiger-neue-bold.woff2              //★
├─ frutiger-neue-light.eot               //★
├─ frutiger-neue-light.svg                //★
├─ frutiger-neue-light.ttf                //★
├─ frutiger-neue-light.woff              //★
├─ frutiger-neue-light.woff2              //★
├─ frutiger-neue-regular.eot             //★
├─ frutiger-neue-regular.svg              //★
├─ frutiger-neue-regular.ttf              //★
├─ frutiger-neue-regular.woff            //★
├─ frutiger-neue-regular.woff2           //★
├─ legalOptions.css                       //★
├─ logo.svg                               //★
├─ rule-edit.svg                          //★
├─ rule-icon.svg                          //★
├─ style.css                              //★
└─ tenant-logo.svg                        //★
```

## Macの場合

```
$ cd ui-assets/  
$ zip ../ui-assets.zip * // ui-assets ディレクトリ内のファイルを ui-assets.zip へ圧縮  
adding: cumulocity.json (deflated 27%)  
adding: docPaneSample.css (deflated 37%)  
adding: favicon.ico (deflated 61%)  
adding: frutiger-neue-bold.eot (deflated 1%)  
adding: frutiger-neue-bold.svg (deflated 77%)  
adding: frutiger-neue-bold.ttf (deflated 45%)  
adding: frutiger-neue-bold.woff (deflated 5%)  
adding: frutiger-neue-bold.woff2 (deflated 0%)  
adding: frutiger-neue-light.eot (deflated 0%)  
adding: frutiger-neue-light.svg (deflated 76%)  
adding: frutiger-neue-light.ttf (deflated 51%)  
adding: frutiger-neue-light.woff (deflated 8%)  
adding: frutiger-neue-light.woff2 (deflated 1%)  
adding: frutiger-neue-regular.eot (deflated 0%)  
adding: frutiger-neue-regular.svg (deflated 77%)  
adding: frutiger-neue-regular.ttf (deflated 52%)  
adding: frutiger-neue-regular.woff (deflated 4%)  
adding: frutiger-neue-regular.woff2 (deflated 0%)  
adding: legalOptions.css (deflated 4%)  
adding: logo.svg (deflated 24%)  
adding: rule-edit.svg (deflated 38%)  
adding: rule-icon.svg (deflated 51%)  
adding: styles.css (deflated 72%)  
adding: tenant-logo.svg (deflated 24%)  
$ cd ../public-options  
$ zip ../public-options.zip * // public-options ディレクトリ内のファイルを public-options.zi  
adding: cumulocity.json (deflated 34%)  
adding: options.json (deflated 64%)  
$ cd ..  
$ ls -l  
total 392  
drwxr-xr-x  4  natsumi staff   136    2  17 15:13  original  
drwxr-xr-x  4  natsumi staff   136    2  12 15:04  public-options  
-rw-r--r--  1  natsumi staff  1087    2  17 15:07  public-options.zip  
drwxr-xr-x 11  natsumi staff   374    2  12 15:03  ui-assets  
-rw-r--r--  1  natsumi staff 193216  2  17 15:06  ui-assets.zip
```

## Windowsの場合

Windowsの場合は、下記の方法でzipファイルを作成できることを確認しています（動作確認: Windows 10）。

- Windows標準のエクスプローラー操作による zip圧縮
- Lhaplus
- Compress-archiveコマンド

下記は Compress-archiveコマンドを使用したzip圧縮の手順です。

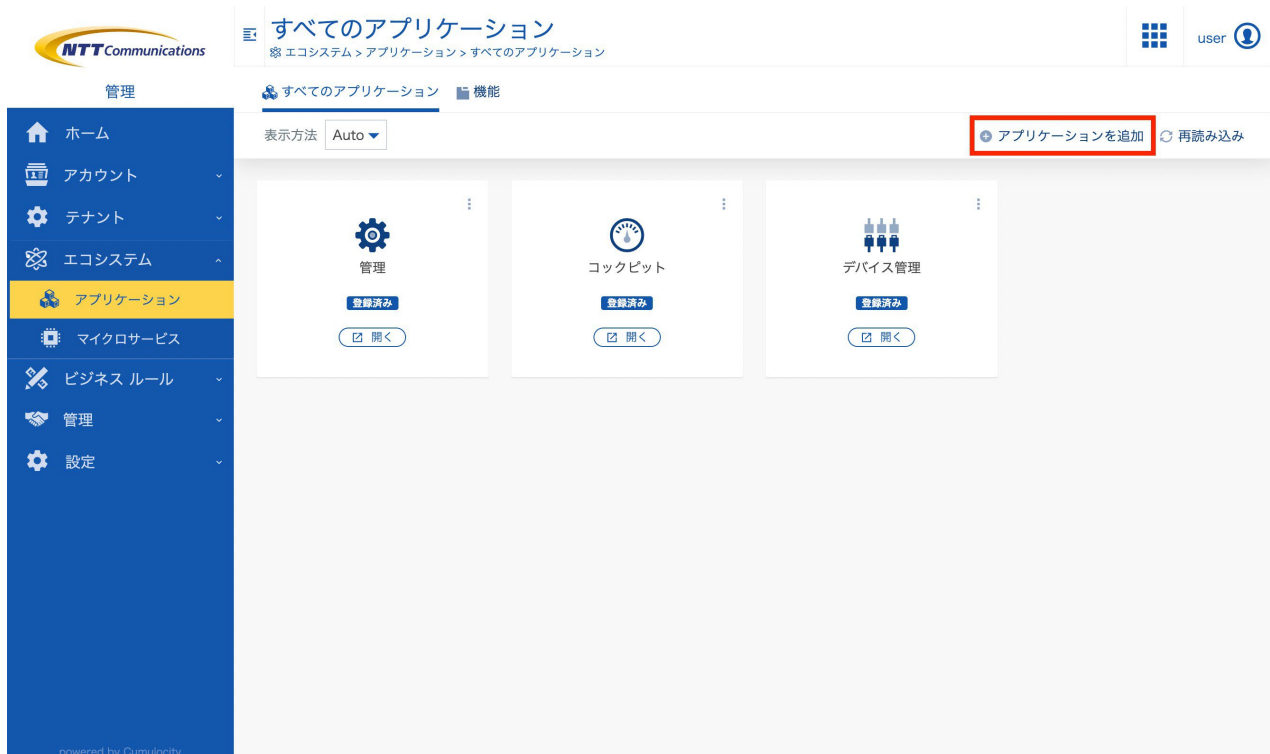
```
> cd ui-assets
> powershell compress-archive * ../ui-assets.zip // ui-assets ディレクトリ内のファイルを ui-

> cd ../public-options
> powershell compress-archive * ../public-options.zip // public-options ディレクトリ内
のフ

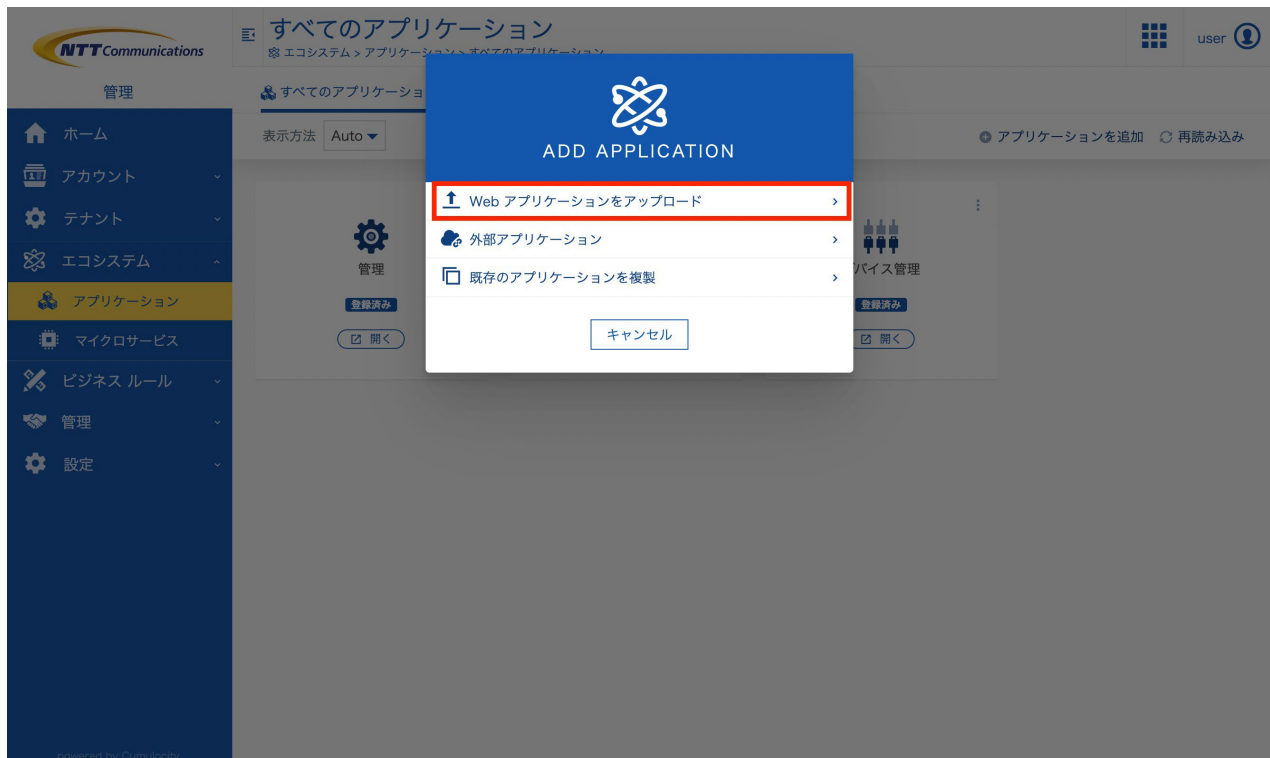
> cd ..
> dir /B
original
public-options
public-options.zip
ui-assets
ui-assets.zip
```

## 2-7.テナントへファイルをアップロードする

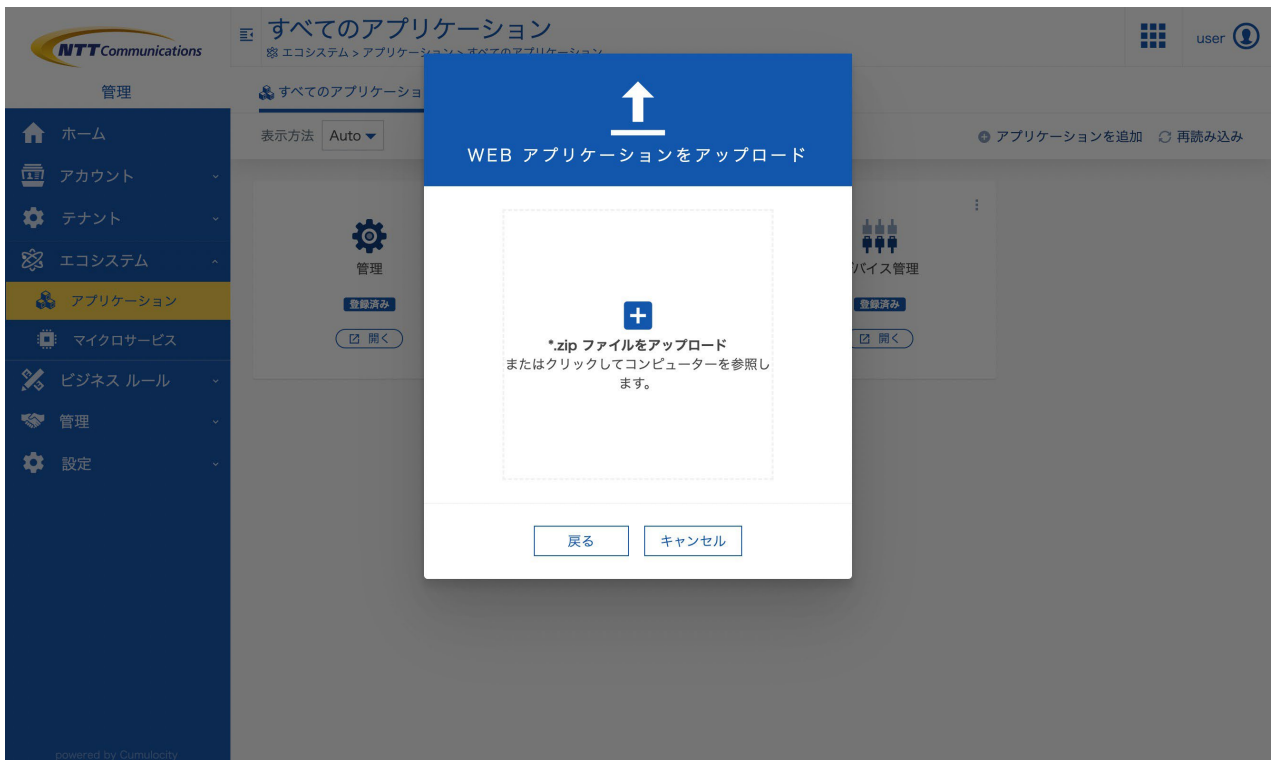
ブランディングを変更したいテナントの管理アプリにログインし、エコシステム > アプリケーションから、「アプリケーションを追加」を押下します。



「Web アプリケーションをアップロード」を選択します。

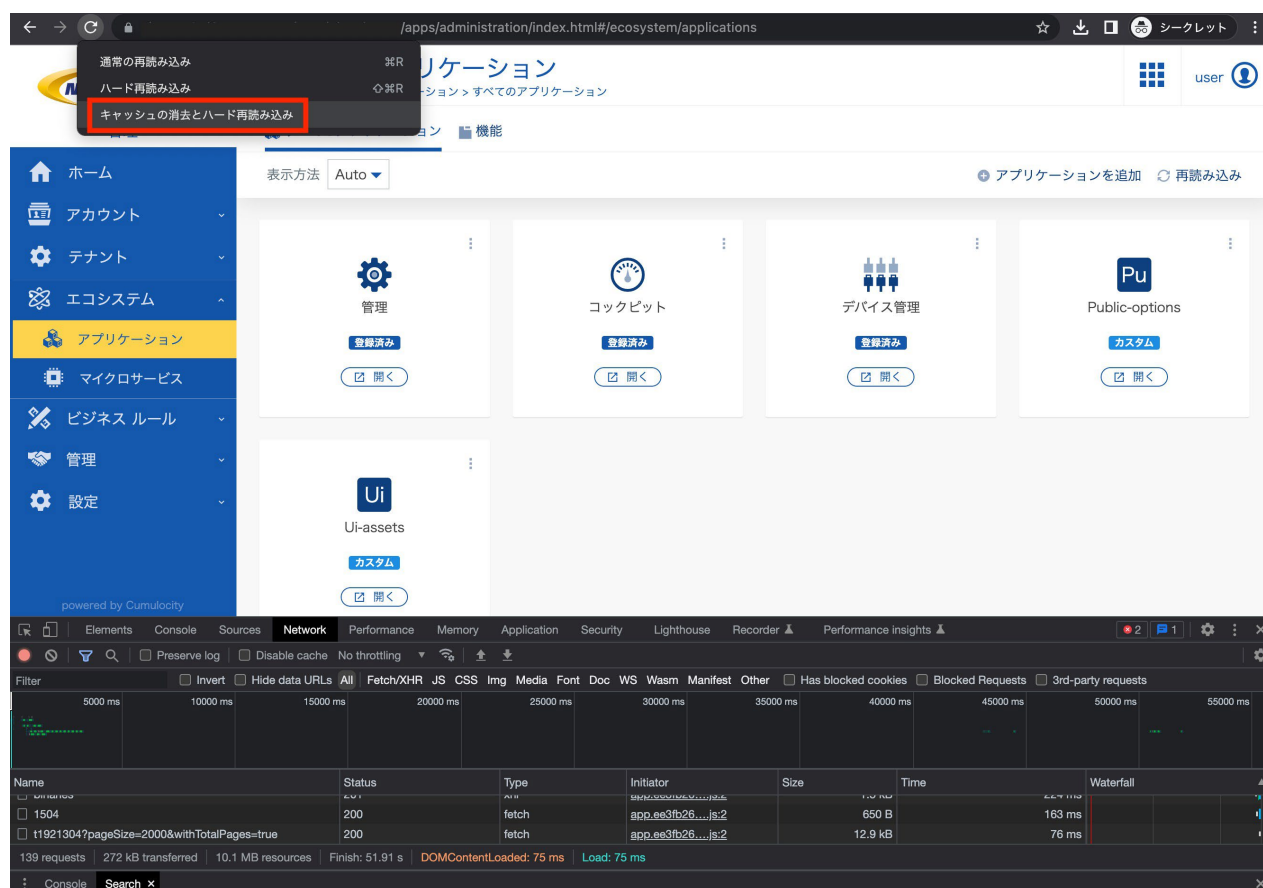


4で作成した2つのzipファイルをそれぞれアップロードします。



ブラウザにキャッシュが残っているため、変更を反映するにはブラウザを2回更新します。ここでは、Chromeの場合の例を紹介します。

alt + command + i (Macの場合) で **DevTools** を表示し、リロードボタンを長押しして表示された「キャッシュの削除とハード再読み込み」を押下します。画面が更新されたら、もう一度「キャッシュの削除とハード再読み込み」を押下します。



以上で、Things Cloud のロゴや配色（ブランディング）の変更は完了となります。